

1号機トールラス室内調査
の実施について
(R/B 1階床配管貫通部からの調査)

平成24年6月25日

東京電力株式会社



東京電力

1. 目的

目的

原子炉格納容器および原子炉建屋からタービン建屋への漏水箇所の調査・止水対策を計画しており、トーラス室内の状況を把握することを目的とする

実施予定日

1号機 6/26(火)

2. 3号機状況

○2号機 : 6月12日(火)に実施した貫通口(7箇所)調査の結果、すべて貫通スリーブ内に詰め物等が確認された。このため6月19日(火)予定のトーラス室内調査を延期とした。今後、再度アクセスルートを検討する。

○3号機 : 貫通口のあるR/B1階が40~140mSv/hの高線量であり、今後、環境改善技術の進捗に応じて実施時期を検討する。

2. 調査概要

調査項目

1号機 R/B 1 階床配管貫通部より、以下の項目を調査

- 滞留水水位
- 滞留水水温
- 滞留水線量
- 滞留水透明度
- トーラス室底部堆積物
- 滞留水成分(塩分濃度, 放射能濃度)

※採水は、表層面と底部で実施。

【調査用機材】

- ・2号機 PCV 内部調査(2回目)で使用した機材等を流用。

計画線量 (直営作業)

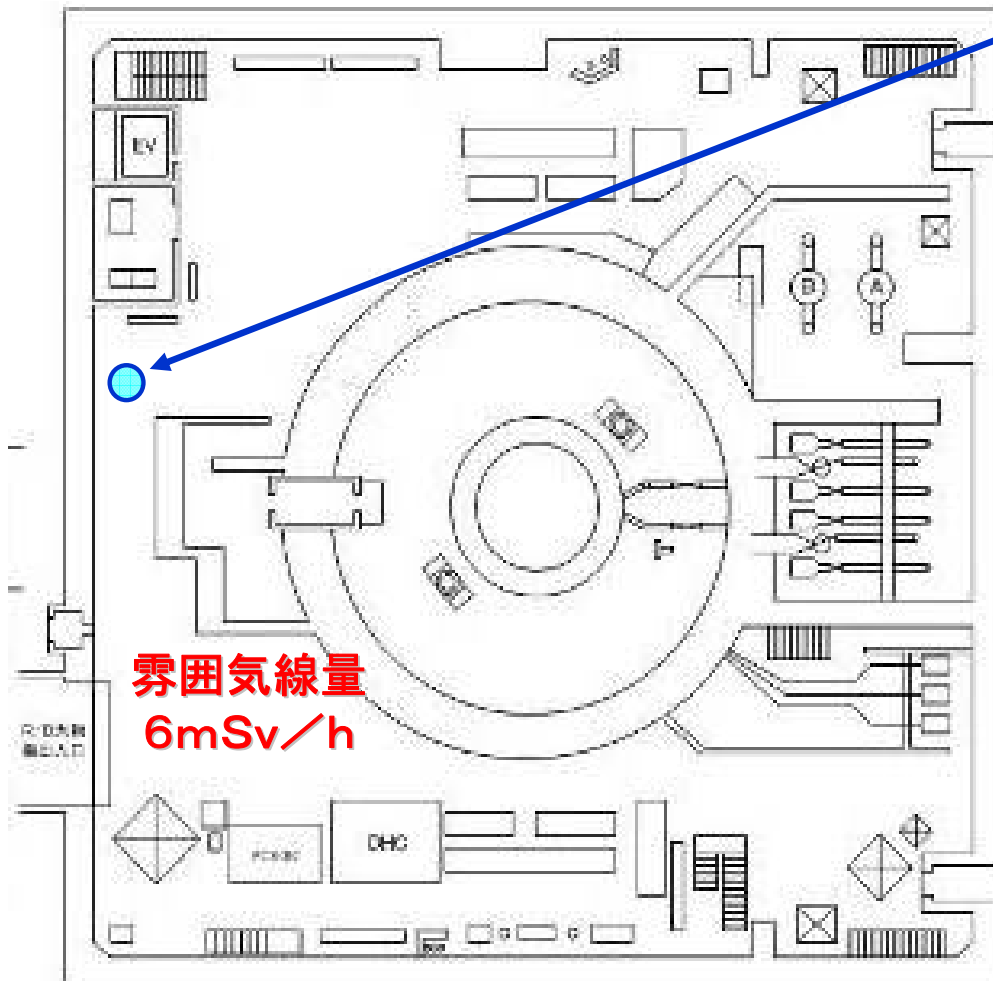
1号機 : 最大8 mSv, 作業員6人+待機2人

3-1. 調査方法（調査用貫通口位置）

1号機：原子炉建屋 1階 西側 配管貫通口

※5/22に貫通口調査により当該箇所を確認。

1F-1u R/B 1階



調査用配管
貫通口



3-2. 調査方法

配管貫通口よりCCDカメラ、
温度計、線量計を挿入。

※配管と床貫通スリーブの隙間 約50mm

